

ICES 2012報告

Review of ICES 2012 Workshop

SCSK株式会社SCSKフェロー;
ICES Founder

黒川 利明

toshiakikr@gmail.com

内容

- ICES概要－2012まで
- ICES 2012の特徴
- ICES 2013以降
- 今後の課題
- 参考文献・リンク

ICES概要－2012まで

- International Cooperation for Education about Standardization
- 2006年から活動を開始。毎年ワークショップを開催して、標準化人材育成の関係者が集まって情報共有する場を提供している
- アジア・ヨーロッパ・北米からボードメンバーを選んで、運営
- 2010年からWSC Academic Week/Dayと連携
- 黒川、ICES(International Committee for Education about Standardization)のこれまでの活動と今後の展開、連載講座：国際標準化戦略としての今後の標準化人材育成 第2回、画像電子学会誌、2012年6月

ICES 2012の特徴

- KATS支援のISO DEVCO/KATS Workshop for developing countriesが5/7-9と行われた
- DEVCO/KATS Workshop参加者が合流したので200人以上になった(日本からは5人)
- 論文発表が21件(パネル形式で運営)
- Video+Web Conferenceを運営
- 着実な成果を産みだしている

ICES2012概要

- Proceedingsはすでにダウンロード可能
<https://docs.google.com/open?id=0B1isGwTWNOY8QIVWcXktLVk2TmM>
- 発表資料もそのうちアップされる予定
- インドネシアの教育科学省とインドネシア標準局との間で、標準人材のための学士・修士課程の設置に関する覚書が交わされた
- レセプションは、Ministry of tourism and creative economyが支援

ICES2012概要

- 全体テーマは、Innovative approach for Education about Standardization
- セッションは、**INNOVATIVE EXAMPLES ON EDUCATION ABOUT STANDARDIZATION**と**BEST PRACTICES ON EDUCATION ABOUT STANDARDIZATION**に分かれていたが、本質的に中身の差はない
- Academic Dayは、ISO/IEC/ITUの取り組み、地域の取組、DEVCOワークショップの報告

ICES2013以降

- ICES 2013は6/10の週に、ETSIがスポンサーで、Sophia-Antipolisで開催
- 2014はNIST(北米)、2015が韓国、2016がギリシャあたりまでほぼ決まり。
- 韓国が再度Secretaryを引き受け、ボードには宋の後をDongungが就任
- 新Chairのde Vriesは、EURAS同様に、新たな活動の可能性を示唆。LinkedInでフォーラムを作る(Dongung担当)

注目点

- BSNのDewi Odjarが、2005年(Asia-Link)以来の活動を振り返って、やっとここまで来たと述べていたが、10年単位の活動が必要
- Helmut Schmidt大学のHesserが、UNECE(UN Economic Commissions for EUROPE)のプログラムで活動
- ANSI CoEは、各企業のUniversity Relations担当の意識調査を実施して、matchmakingの可能性を探っている
- 中国、韓国では、標準専門職のCertificateが話題になっている
- ASTMがスポンサーの可能性を示唆

今後の課題

- 法人化の問題は、当面棚上げか？
- ワークショップ以外の活動は未知数
- ISO/IECとの連携は順調だが、ITUとの連携はまだこれから？
- ボランティア活動と恒久的な活動とのつながりをどのようにしていくのか
- 産業側からの関与をどのように高めるか
- 工学系標準カリキュラムとの関わり (ABEE)

参考文献・リンク

- ICES <http://www.standards-education.org/>
- ICES 2012 <http://ices2012.bsn.go.id/>
- 黒川利明、ICES(International Committee for Education about Standardization)のこれまでの活動と今後の展開、連載講座：国際標準化戦略としての今後の標準化人材育成 第2回、画像電子学会誌、2012年6月